

シソ科

ミゾコウジュ

Salvia plebeia R.Br.

兵庫県ランク… B

環境省ランク… NT

■ 県内分布

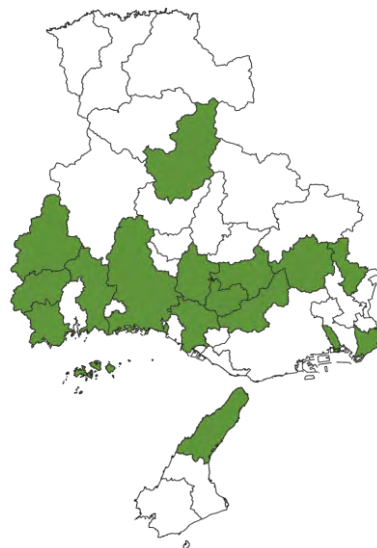
尼崎市、芦屋市、三田市、猪名川町、加古川市、三木市、小野市、加西市、加東市、姫路市、赤穂市、たつの市、上郡町、佐用町、朝来市、淡路市

■ 国内分布

本州、四国、九州、琉球諸島

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	○ 特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

耕作放棄、ため池の利用停止、河川環境の変化などにより減少している。2020年版でCランクからBランクに変更した。

■ 保護上の留意点

生育地周辺における農業の持続が重要である。



写真提供：松岡成久

■ 種の概要

ロゼット葉のある越年草。湿った草原や畦に生える。葉は長楕円形で根出葉は長い柄があり、花時には枯れる。茎は高さ30-70cm、4角形で直立し、下向きの細毛がある。茎葉は短い柄があり、長さ3-6cmになり、幅1-2cmで、縁は鈍い鋸歯があり、脈は凹入して葉面は細かいしわがあり、細毛がある。花は5-6月に開き、花穂ははじめ短いが、のちに長く伸びて8-10cmとなる。萼は長さ2.5-3mm、唇形で、花が終わると左右に口を閉じるが、果時には長さ約4mmとなってまた開く。